

☑平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報																				
☑ 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。																				
事務事業名	石下地区流域関連公共下水道整備事業費			補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input checked="" type="checkbox"/> 決まっている (平成 35 年度まで) <input type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	公共下水道事業特別会計			款	1	項	1	目	4	事業	2
担当部	都市建設部		担当課	下水道課		担当係	工務 係		作成者	斎藤 弘道		内線(電話番号)	2930		シート作成日	H30.10.19		部長決裁日	H30.10.23	
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称 : 常総市都市計画マスタープラン、常総市北部公共下水道全体計画、利根川流域下水道整備総合計画)					根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 : 下水道法, 都市計画法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称 :)													

2 事務事業の目的																
☑ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程を考えていただいても結構です。																
現状課題	平成29年度末の整備率は、計画区域面積293.9haに対し、整備区域面積177.3haにより60.3%である。現在、新石下地区及び常総IC周辺開発地区への幹線管渠整備を進めている。既定の下水道全体計画に定めた整備計画区域を全て施工するには、今後も莫大な予算と相当な年数を要することから、過年度(H28)に実施された「茨城県生活排水ベストプラン」の改定時には整備計画区域を見直し大幅に縮小した経緯があるため、今後、下水道全体計画の見直し時に当該ベストプランを反映する予定である。					誰・何を対象に	全体計画区域内の下水道事業計画区域(認可区域)					望ましい状態	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域(鬼怒川、利根川)の水質保全をはかる。			
どのような方法・手順で	汚水管渠の整備を行い、各家庭に公共汚水ますを設置し汚水流入を可能にする。都市計画法及び下水道法に基づく事業認可期間については、随時延伸する。															

3 事務事業の主たる成果指標														
☑ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。														
指標名	計画区域面積		単位	ha		目標値	294		目標年次	平成 35 年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	事業認可で定めた計画区域面積を目標値とした。	

4 事務事業の実績 ①															
☑ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。															
年度	平成27年度				平成28年度				平成29年度						
	業務名		活動量		業務名		活動量		業務名		活動量				
事務事業を構成する主な業務	① 事業の計画	1回		① 事業の計画	1回		① 事業の計画	1回		① 事業の計画	1回				
	② 補助・起債申請	2回		② 補助・起債申請	2回		② 補助・起債申請	2回		② 補助・起債申請	2回				
	③ 工事の管理・監督	1件		③ 工事の管理・監督	3件		③ 工事の管理・監督	4件		③ 工事の管理・監督	4件				
	④ 委託業務の管理・監督	2件		④ 委託業務の管理・監督	2件		④ 委託業務の管理・監督	4件		④ 委託業務の管理・監督	4件				
	⑤			⑤			⑤			⑤					
	⑥			⑥			⑥			⑥					
	⑦			⑦			⑦			⑦					
	⑧			⑧			⑧			⑧					
	⑨			⑨			⑨			⑨					
	⑩			⑩			⑩			⑩					
	⑪			⑪			⑪			⑪					
	⑫			⑫			⑫			⑫					
	目標値に対する実績値		170 ha		目標値に対する実績値		175 ha		目標値に対する実績値		177 ha				
決算額	計	96,014,004 円	内訳	特定財源	88,016,800 円	計	93,675,458 円	内訳	特定財源	88,745,800 円	計	176,158,793 円	内訳	特定財源	166,810,000 円
				一般財源	7,997,204 円				一般財源	4,929,658 円				一般財源	9,348,793 円
		(住民一人あたりの行政コスト)	1,552 円		(住民一人あたりの行政コスト)	1,540 円		(住民一人あたりの行政コスト)	2,914 円						

5 担当者評価 ②													
☑ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。													
成果	目標どおり	成果内容	事業認可期限の平成35年度に向け、計画どおり事業を進めている。										
問題点	水海道地区と同様に未整備区域の整備は喫緊の課題と考える。当整備事業費を推進するにあたり、監督係員の増員が必要である。												

6 担当部長及び担当課長評価 ③													
☑ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。													
事務事業の方向性													
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	平成28年度に策定したアクションプランにのっとり、下水道計画区域の未整備地区の早期整備が必要である。単年度内での工事完了を目指すためには、工事範囲・規模を適切に細分し小規模にして多数業者による同時施工で実施する必要がある。												

7 実施計画 ④													
☑ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。													
年度	平成30年度				平成31年度				平成32年度				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●面整備工事 開削(VUφ200mm)L=2,224.6m 推進(φ200)L=168.0m ●常総IC関連幹線管渠布設工事 開削(φ450mm)L=811.0m 推進(φ700~φ450mm)L=287.0m ●工事説明会 ●工事積算資料作成業務 ●工事施工監理業務 				<ul style="list-style-type: none"> ●常総IC関連幹線管渠布設工事 開削(圧送φ250mm)L=2,000.0m×2条 ●工事積算資料作成業務 ●工事施工監理業務 				<ul style="list-style-type: none"> ●面整備工事 開削(VUφ200mm)L=1,415m ●常総IC関連ポンプ施設設置工事 N=1.0箇所 ●工事説明会 ●工事積算資料作成業務 ●工事施工監理業務 ●実施設計業務(トライアル周辺, 上石下) 				
	予算額	歳出	計	653,731 千円		歳出	計	646,500 千円		歳出	計	335,400 千円	
			特定財源	620,700 千円			特定財源	613,700 千円			特定財源	318,100 千円	
		歳入	一般財源	33,031 千円		歳入	一般財源	32,800 千円		歳入	一般財源	17,300 千円	
	計	653,731 千円			計	646,500 千円			計	335,400 千円			

8 財務アドバイザーの見解													
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。													

9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。将来に負の遺産を残さないためにも必要な事業であり、公衆衛生上拡充はやむを得ない。													

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤													
事務事業の方向性													
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	アクションプランにのっとり計画区域未整備地区の早期整備が必要である。												

11 事務事業の改善理由 ⑥													
☑ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。													
事業内容	公共下水道事業は平成32年度から公営企業会計に移行することから、今後、事業の見直しを図り、経営の安定化に努める。なお、市の上位計画に位置付けられている常総IC周辺開発地区を優先し整備する。												